

ヒノキのスプーン・フォーク

西川村ヒノキの間伐材を使ってスプーン、フォークを作ります。金具を付ければ自分だけのステキなマイスプーンやマイフォークに変身します。自分で作ったものを使って料理を食べると味も格別に感じます。



対象	実施時期	定員	所要時間
4年生以上	通年	10～120人	2時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
軍手	ボール盤・ドリル歯 (5.5mm)・ノコギリ・ナイフ・お米で作ったワックス・スポンジ・ボンド・当て布・延長コード・ポスカ・ゴミ入れバケツ	ヒノキ木材 フォークまたはスプーンヘッド	

ねらい

- ・想像力・表現力を高める。
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。
- ・道具の使い方を身に付ける。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、作業台（丸太イス）を準備していただきます。
※1 作業台につき、1～3 名程度
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください

準備（1 作業台 2～3 人程度）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
- ② フォークまたはスプーンヘッドを配布します。ナイフは安全上、班代表者にまとめて渡します。
- ③ ヒノキ材を準備します。

実施

- ① 木材をボール盤の台に固定します。
- ② フォークやスプーンの先端になる方の中心に、スプーン・フォークのヘッドをいれるための穴を開けます。
※ボール盤は団体引率者（大人）が扱います。
※ボール盤の使用は、当所職員より必ず説明を受けてください。
- ③ フォークまたはスプーンヘッドを穴に入れ、十分な深さがあることを確かめます。
- ④ 木材をナイフで削り好みの形にし、紙やすりで磨いて仕上げます。

- ⑤ 表面に名前や絵を描きます。
- ⑥ 穴にボンドを流し込み、金具を固定します。
- ⑦ お米で作ったワックスを塗り、乾くまでおいておきます。

※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきますが、活動が落ち着いたタイミングで、お声がけさせていただいた上で、事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。

片付け

- ① 道具の数を数えます。
- ② 道具類は最初にあった場所に戻します。
 - ・ナイフの返却は、数を確認した上で、貸出同様にまとめて返します。
- ③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。
- ⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

- ・作品を披露し合います。
- ・ふりかえり

留意点

- ① 刃物を使用します。正しい使い方を守ってケガのないよう作業してください。
- ② 材料を押さえる手に軍手を装着し、刃物は素手で持つようにします。
- ③ 刃物が当たらないよう隣の人との距離をはなします。(70cm以上)

SDGs への取組

- ・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- ・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切に作る気持ちを育めます。

